

種目【英語】

書名 項目	NEW HORIZON Elementary English Course	2 東書
内 容	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○1つの単元が、「音に出会う」→「会話に慣れる」→「コミュニケーションを楽しむ」の3つのステップで構成されており、十分に「聞く」活動を行い、慣れ親しんでから言語活動に入るような設定になっている。 ○脚注があり、Picture Dictionaryを見て、児童が進んで学習し、単語の定着を図れるような工夫がある。 ○ところどころに単語の意味を補足する絵が吹き出しでかいてあり、低位の児童にとっても学びやすい工夫がある。 ○各単元最後の「世界を広げる」では、その単元と同じテーマを身近なことや他教科とに関連づけた情報が、豊富な写真とともに掲載され、リアルな世界に触れることができる。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○4技能のかわいらしいキャラクターやアイコンで目標が伝わりやすい。 ○各Unitの初めに、内容に一致した歌とチャンツがあり、基本表現のリズムやイントネーションに慣れ親しんでから、言語活動に入る工夫がある。 ○絵や写真で場面の設定が分かりやすく、必要性をもって、言語材料を使う場面が繰り返し登場する工夫がある。 ○身近な事柄を題材として取り上げているので、主体的に言語活動を行うことができるようになっている。 ○毎時間にスマールトークが入っていて、既習表現を使って、思考力、表現力を高めることができる。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○親しみやすい絵で、児童と同世代のキャラクターたちの日常生活を描いたドラマ仕立てのストーリーによって、関心意欲を高めている。 ○Picture DictionaryにCAN-DOリストがあり、「何ができるようになるのか」が分かるようになっていて、つまづいたときに振り返ることができる。 ○環境や障がい者スポーツや食糧の輸入などについて触れ、外国について紹介するたくさんの写真があり、異文化を理解することができる。 <p><聞くこと、読むこと、話すこと〔やりとり〕、話すこと〔発表〕、書くことなどのコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○Picture Dictionaryや多くのQRコードがあり、いつでもどこでも、児童が主体的に学ぶことができる工夫がある。 ○基本表現の文では、主語や動詞などに色が付いていて、文の構成が分かるようになっている。日本語との違いに気づきやすい。 ○文字を書く活動では、4線に書かせる配慮がある。書く活動にスムーズに取り組める工夫がある。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書がA4版で大きく、読みやすいし、書き込みもしやすい。 ○巻末のカードは厚紙になっていて使いやすい。また、切り取り線で切り離しができる。 ○巻末にワークがついていて、追加でワークシートを用意する必要がない。また、ワークの部分は鉛筆で書きやすい用紙をつかっている。 ○小型で携帯しやすいPicture Dictionaryがついており、授業中の活動や自主学習で使うことができ、便利である。 	
表 記 ・ 表 現	<ul style="list-style-type: none"> ○新ユニバーサルデザイン書体で、読みやすく書きやすい。そのまままねして書けるようになっている。 ○4線ノートの幅に工夫がある。1階が広がっていることで、文字の形や高さを区別しやすくなっている。 ○重要な文字や文のどこを使って、何を覚えていくのかに対して色を変えている工夫が見える。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○単元の学習の流れが明確で、1つの活動にもスマールステップが示されていて、教師にも児童にも学びやすく教師にとっても指導しやすい。 ○豊富な写真資料などによって世界に目を向け、意欲をもって学べる作りになっている。 ○QRコードやURLが多くあり、教員も児童もたくさんの音声や映像を必要に応じて使うことができる。工夫して使うことで深く学ぶことができる。 	

種目【英語】

書名 項目	<h1 style="text-align: center;">Junior Sunshine</h1>	<p style="text-align: center;">9 開隆堂</p>
内 容	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○導入「Let's listen」から終末「Let's try」までの段階的に学んでいける構成となっている。導入で課のゴールを見通せるリスニング活動が設定されている。その後ターゲットになる英語表現を段階的に繰り返し学習し、それらを駆使して無理なく終末のアウトプット（自己表現活動）に臨めるように各課が構成されている。 ○開きやすい巻末に「ローマ字表」「アルファベット」を配置することで、児童が読み書きする際にすぐに参照できるように配慮されている。 ○QRコードによって、実際の音声を繰り返し聞きながら家庭学習にも生かせる。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○他教科との横断的な学習が多く設定されている。該当箇所には教科マーク付されており一目で他教科との関連が分かるようになっている。（社会科をはじめ、国語、図工等の活動） ○道案内を題材とした課では、プログラミング的思考を育成する活動が設けられている。 ○自分の将来「職業なりきり自己紹介」や「なりたい職業につくための時間割」など自己肯定感を高めたり、他者を認めたりする意識を養う活動がある。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○他教科との関連、横断的活動を取り入れている。教科マークで示してある。（国語・社会・図工・家庭科・理科等） ○自国の郷土を尊重し、他国尊重・国際社会に寄与する意識を育てる構成になっている。（「自分の町紹介」「世界の衣食住」など） ○「特別の教科 道徳」との関連を図り、親切・友情・公平・伝統文化・国際理解等、道徳的価値に迫る題材や活動が全課にわたって意識的に配置されている。 <p><聞くこと、読むこと、話すこと [やりとり]、話すこと [発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○意味のある生きたコミュニケーションを重視し、文法指導中心にならないよう配慮してある。新出の英語表現は使う必然性を持たせ児童がやりとりしたいと思える活動を通して無理なく身につく工夫がある。 ○教科書後半に「文字になれよう」というコーナーを設け、「音と文字の関係」「アルファベット、文の書き方」などを段階的かつ系統的に学習できるようになっている。書くことを意識して、消しゴムで消しやすい用紙になっている。1時間分を3項目に分けているので短時間学習（モジュール）にも対応している。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○実生活、世界の行事等には鮮明な写真が取り入れてある。 ○児童の日常生活に密着した題材を扱い、場面シラバス構成で文法指導中心とならないように配慮してある。 ○「学んだことリスト」「自律的ふり返り」の欄がありふり返りによい。 ○巻末カード集は、厚紙できており、使いやすい。 ○教科書冒頭に「CAN-DO マップ」が見開きで配置され、学年のはじめに児童が各課でどのような活動に取り組み、どのような能力が身に付けられるようになるのかが明示されている。 	
表 記 ・ 表 現	<ul style="list-style-type: none"> ○カラーユニバーサルデザイン、特別支援の観点から十分に配慮がなされ、識別しづらい色遣いは避け、すべての児童が無理なく学びやすい紙面づくりになっている。 ○「読む」「書く」ことに慣れ親しむことができるよう、手書きの文字に近い書体を開発・採用している。 ○英語の4線の幅を4：5：4とし、小文字を表記しやすくしている。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○ペアやグループで行う活動を数多く設定している。児童同士が教え合い学び合う中で生きたコミュニケーション活動が行えるよう配慮されている。 ○小・中連携の観点から、「中学校へつなげよう」という特設コーナーがあり、音と文字の関係や英語で書くときの基本的なルールを段階的かつ系統的に本課と並行して丁寧に学習することができるようになっている。 	

種目【英語】

書名 項目	JUNIOR TOTAL ENGLISH	11 学図
内 容	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○繰り返し「聞く」活動、繰り返し口ずさむ活動、インプットを重視した構成になっている。 (歌、Let's listen、ナレーション入り3コマ絵など) ○目標表現の繰り返し学習 (チャンツ) ○読み書きドリルの充実 (「Sounds&Letters」、ページ横にアルファベット&イラスト) ○目標と振り返り→学習内容の把握と確認が1課ごとにまとまってできる。 ○自学習のページの充実 (QRコードによって、実際の音声を繰り返し聞きながら家庭学習 (ドリル) にも生かせる。) <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○等身大の子どもたちの日常生活のストーリーを使って、そこに自分を投影しやすいので「英語を使ってみよう」という気持ちにさせる工夫がある。 ○レッスンで学んだことを使ったアクティビティーを通して学びをふり返り表現力を磨くことができる「Use&Check」がある。 ○年2回の「ProjectTime」では、既習知識を用いて、自分のこと、例えば地域のよさ、他国のよさ、小学校の思い出などを発表用シートに書いて発表するという活動がある。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○1課ごとに、その課に関わる日本語コラムが掲載されている。⇒異文化理解、郷土愛へのつながり ○横断的な活動・現代的なテーマで英語を使うように工夫している。 ○Shaggy's story が各単元末にあり、イギリスの生活について物語と通じて知ることができるとともに、単元で学習した表現の確認や文字への気付きができるように工夫されている。 <p><聞くこと、読むこと、話すこと〔やりとり〕、話すこと〔発表〕、書くことなどのコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○主体的対話的なアクティビティーの設定がある。 ○ペア・グループで多様なアクティビティーを通して交流できる。 ○Small Talk に対応しており、児童同士のやり取りがしやすいように例文が提示してある。 ○「Project Time」(学年2回)の発表を聞き合うことで表現することの意欲を持たせられる。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○児童に親しみやすいイラスト・アニメ風の挿絵が豊富にある。 ○巻頭に豊富な資料がある。(クラスルームイングリッシュ・目標・学習の進め方など) ○巻末の資料が充実している。(復習資料・Word list、Song、ローマ字表など) ○アルファベットコーナー (年10回ドリル) やUse&Check 5:6:5の4線・Project Timeシート(厚紙)ドリル(15分モジュール対応)がある。 ○日本語コラムやShaggy's story (英語読みもの)がある。 ○自学に活用できるQRコードによる繰り返し発音練習がある。 	
表 記 ・ 表 現	<ul style="list-style-type: none"> ○カラーユニバーサルデザインを採用し、配色やイラスト、文字フォントなど特別支援的配慮がある。 ○挿絵は、マンガ・アニメタッチの親しみやすいイラストになっている。 ○A4版で使いやすく、多様な字体を採用している。 ○イラストアイコンマークにより、活動が一目ではっきりわかるようになっている。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○豊富な資料・ドリルなどの掲載により、自分のペースで繰り返し学習がしやすい。 ○英語力の基礎を十分に身に付けられるように、また、英語に慣れるように英語の文や表記が多く構成されている。 ○学習の流れが1課ごとに、課の始めに詳細に書かれており、見通しをもって学習に取り組んだり、現在地を確認したりできる。 ○多様な表現活動ができるようになっている。 ○とにかく繰り返し「聞く」「話す」の活動が、十分に設定されている。 ○絵や図、イラストも多いが、文字情報も多く、説明や例文など詳細な掲載が特徴的である。 	

種目【英語】

項目	書名 CROWN Jr.	15 三省堂
内 容	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○HOP→STEP→JUMPの3段階で1ユニット、各学年が3ユニットで構成されている。 HOPで目指す姿を把握し、STEPで音声から文字へ理解から表現の順で学んでいけるようになっている。また、STEPは、複数のレッスンで構成され、ペア・グループ活動から全体活動へとスモールステップで進む構成となっている。JUMPでは実際の場面で自分のことや身近なことを表現することができる。 ○語彙や表現を増やすために「話す」「聞く」活動が中心となるが、「読む」「書く」活動にも徐々に慣れていけるよう各学習活動が配置されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○既習の表現を繰り返し聞いたり、話したりする、音声で学んだことを読んだり書いたりする、学んだ語彙や表現を実際に使う活動を行うなど、それぞれの活動が関連を持ち、「スパイラル」に言葉の力が育成されるよう構成されている。 ○児童が共感でき、ストーリー性のある話題が扱われており、そのことを言う「必然性」がある場面設定が意識的に構成されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○海外の話題で世界を広げるだけではなく、日本文化の発信に資する題材（日本、大発見）、児童自身の世界を広げる題材（実世界の英語）等も配置されている。 ○「特別の教科 道徳」とのクロスカリキュラムの観点から正義・自他の敬愛・社会への主体的な参画等の道徳的な価値づけを意識した題材も見受けられる。 ○JUMPには埼玉県で推奨されている「バックワードデザイン」の意図が見える。児童が単元のゴールを意識して、何をいつどうやって学習するかが明確になっていて、どの子も主体的に活動できるような工夫が見える。</p> <p><聞くこと、読むこと、話すこと [やりとり]、話すこと [発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成するための工夫> ○単元の始めの見開きには「読む」「書く」を意識して、一つ一つの物・動作に文字が入っている。 ○「Enjoy listening」のようにコミュニケーションの基礎となる「聞く」活動を楽しみながら児童が取り組めるようになっている。 ○STEPの中にSTORYが入っていて、なじみのある物語を英語で味わえるように扱われており、イラストと既習表現の吹き出しを助けとして児童が「聞き取れた」「読めた」と達成感が味わえるよう構成されている。 ○コミュニケーションにおいて重要な「あいづち・反応」についても書かれていて、ただの文の暗記練習にならないような工夫が見える。</p>	
資 料	<p>○各課のチャンツや巻末のWords&Phrases等には二次元コード（QRコード）が付されており、語句や音声を聞くことができるようになっている。</p> <p>○自主的な学びができるよう、切り離して使える付録が豊富に用意されている。○英語を媒介として世界とつながっていけるよう、他文化を尊重する心を育む教材・資料が配置されている。（口絵 世界のまちかど等）</p> <p>○「世界の時差」は社会科との関連も意識できる。また、時差について「+」や「-」表記は児童にとってわかりやすい。</p>	
表 記 ・ 表 現	<p>○識別しにくい配色を避けて形や記号などの補助的な手がかりを設けるなど、すべての児童にとって分かりやすい紙面づくりとなっている。</p> <p>○児童の手本となる手書き文字フォントを開発・採用している。大文字・小文字ともに4線にきれいに乗るように表記されている。</p> <p>○どんな活動をするか一目で分かる、5領域を示すアイコンが付されている。</p>	
総 括	<p>○目標・見通し・ふりかえりという学びのプロセスを大切にし、自分の気持ちや考えなどを伝え合う言語活動を柱として構成している。</p> <p>○書いたものを話すなど、複数技能を統合した活動を多く設定することで、基本的な英語の運用能力の向上を意図して活動が設定されている。</p> <p>○話し手、聞き手、書き手、読み手などを意識し、よりよいコミュニケーションを成立させるポイントが重視されている。特に5年生の【会話を続けるくふう】が特徴的であった。</p>	

種目【英語】

書名 項目	<h1>ONE WORLD Smiles</h1>	17 教出
内 容	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○どの単元も、映像を見て概要をとらえることから始まり、口慣らしをしてから発表ややり取りをする発信活動へつなげている。流れが一定で児童が学びやすい。 ○Say It Together ではチャンツを取り上げ、繰り返し表現に慣れることができる。 ○音声と文字の指導が丁寧にできるように工夫されている。無理なくアルファベットの音に触れることができる。 ○オリジナルチャンツ・絵本教材も豊富に用意されている。 ○QR コードによって、実際の音声を繰り返し聞きながら家庭学習にも生かせる <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○冒頭に学年の目標や「学習を見通すページ」があったり、単元の初めには吹き出しで目標が紹介されていたりして、児童が見通しをもって学ぶことができる。 ○各単元に Let's Think のコーナーがあり、問いかけがたくさんあり、言語や文化について考えさせたり気づかせたりする工夫がある。 ○「あこがれの人当てクイズ」など、予想してから質問したり伝える順番を考えて整理したりする活動がある。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○行ってみたい都道府県やオリジナルメニュー、オリンピック・パラリンピックの選手のテーマなどを取り上げ、他教科の学びが英語学習に生かせるようになっている。 ○巻頭の Let's Start Together では、前学年の語彙・表現をふり返ることができ、前向きに学習に取り組めるような工夫がある。 ○名物マップやシールなどがあり、児童がやってみたいと思えるような仕掛けになっていて興味をもって学べるような工夫がある。 ○世界 12 か国の小学生の写真や音声に掲載されていて、多様な文化や価値に触れることができる工夫がある。 <p><聞くこと、読むこと、話すこと〔やりとり〕、話すこと〔発表〕、書くことなどのコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○表現を伝える相手を外国人の先生にするなど、英語を使う必要性がある設定になっている。 ○活動では、絵と吹き出しで何をやるのかがイメージしやすくなっている。聞き手のリアクションにも触れ、コミュニケーション活動を重視している。 ○「学びリンク」では、QR コードや URL からウェブサイトアクセスし、動画や音声を何度も視聴できるようになっている。 ○非難するときの英語や手話などが紹介されていて、実生活と結びついている。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○巻頭に CAN-DO（できるようになること）があり、ユニットごとのゴールを教科書に掲載していて学習の見通しが持てる。 ○巻末カードには、ミシン目がついておりはずしやすい。付録には絵辞典、ペンマンシップカード、活動シールなど豊富にある。 ○わかりやすい文例とワークシート（発表シート）がある。 	
表 記 ・ 表 現	<ul style="list-style-type: none"> ○カラーユニバーサルデザインを採用していて、判断しやすい配色になっている。 ○文字はユニバーサルデザインフォントを使っていて、どんな子供にもわかりやすくなっている。 ○アイコンで活動のめあてが分かりやすくなっている。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○単元の流れが一定で、見開き 1 ページで 1 時間の構成になっているので指導しやすい。 ○分かりやすいイラストと指示文があり、児童にとっても教員にとっても活動の内容がイメージしやすくなっている。 ○巻末に資料がたくさんあり、使いやすい。 ○世界の子供たちがたびたび登場し、世界を身近に感じながら英語を学ぶことができる。 	

種目【英語】

書名 項目	<h1>Here We Go!</h1>	38 光村
内 容	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「聞く」活動の前に「見る」活動が設定されていて、児童には段階的に言葉を理解しやすい単元構成になっている。「聞く」ための準備ができるようになっている。 ○英語の響きを味わいながら文化的な背景にも興味が持てる歌や絵本教材が豊富に盛り込まれている。また全ユニットにオリジナルチャンツが配されており、学習する基本表現を楽しく練習できるようになっている。 ○「アルファベットの由来」などが載っていて、児童にとっては小文字の学習の一助になるような工夫がある。暗記だけになるのではなく、考えながら知識を定着できるようになっている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○UnitにあるLet's tryやYou can do it!の活動は、グループ内でやりとりをしたり、グループで力を合わせて発表したりする活動となっている。一人では難しいことでも、助け合うことで英語で表現することの自信が培われるよう工夫されている。 ○思考力・判断力・表現力が、言葉を通して伝え合う中で培われるようになっている。活動では、予想してから質問したり、伝える順番を考えて整理したりする活動が多数用意されている。活動の話題は、学校や日常生活など親しみやすく、安心して活動できるものとなっている。(あこがれの人を当てるクイズ) <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「教科書の使い方」がわかりやすく書かれている。3段間の構成になっていること、目標がどこに書いてあるか、この教科書で使われているマークなど初めて外国語を学習するどの子も主体的に学習に取り組める工夫がある。 ○「世界の友達」コーナーでは、実際の写真が豊富に掲載され、世界12か国で実際に生活する小学生のメッセージを音声と映像で紹介し、多様な文化や価値観に触れられるようになっている。 <p><聞くこと、読むこと、話すこと [やりとり]、話すこと [発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○巻頭に、コミュニケーションを円滑にする4つの大切として、「アイコンタクト」「スマイル」「クリアボイス」「レスポンス」を示している。各ユニットに「Response」コーナーが付されており、相づちや聞き返す表現が繰り返し示されており、相手意識が育つように構成されている。 ○各ユニットには、Sounds and lettersのコーナーが配され、楽しみながらアルファベットの音と文字の関係に少しずつ気付けるようになっている。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○児童が言いたい語や、これまで触れてきた語を探して使えるように、巻末に「絵辞典」が付されている。 ○水性ペンを用いて、文字を何度も書いて練習できる「ペンマンシップ・シート」が付されている。 ○音声や映像、リンク集など、学習を広げるウェブコンテンツが豊富に用意され、紙面に付された二次元コードを通して無償で利用できるようになっている。 	
表 記 ・ 表 現	<ul style="list-style-type: none"> ○当該学年の配当漢字には、すべて振り仮名が付されている。 ○判型については、横組の文字が読みやすく、紙面を視覚的に見せることができる横幅の広いA B判が採用されている。 ○大判のイラストや、小さくしても分かりやすい写真を用いており、めりはりのある紙面構成となっている。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○各Unitの導入Hop!には、「学習のめあて」をGoalとして示し、UnitのまとめのJump!には、「ふりかえろう」が設けられ、児童は3つの観点から学習を振り返ってCAN-DOシールを貼り、達成感を得ることができる。 ○道徳や国語をはじめ、他教科との関連が積極的に示され教科横断的な視点で学習が計画できるようになっている。 ○表現のための語彙と理解のための語彙の考え方が意識されており、中学年から慣れ親しんだ表現に、何度も触れられるように言語材料の工夫がされている。 ○中学校校検定教科書や英検、CEFR-Jや国際的な基準等の語彙を分析し、教科書で触れる語彙を721語に設定し、特に重要な語彙や表現については繰り返し登場させている。 	

種目【英語】

書名 項目	Blue Sky elementary	61 啓林館
内 容	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○どの Unit も、「導入」→「インプット」→「アウトプット」→「振り返り」となっていて、音声から文字への流れで英語を習得できるようになっている。学習の流れが一定なので、児童が安心して学べる。 ○「インプット」では、チャンツがあり、表現を繰り返し聞いたり口にしたたりする工夫があり、定着を図っている。例文には、「・」でストレスが示され、日本語とのリズムの違いに気づきやすい。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○巻末には、絵本が載っていて、絵を見ながら単語や文の意味を推測しながら物語を楽しむことができる。 ○3つの Unit ごとに Review があり、提示された場面でのどのような英語を使って伝えればいいのかを児童が考えて表現する活動ができ、思考力や表現力を高めることができる。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○巻末には、「Word List」があり、自分の言いたいことを英語でどのように言うのかを調べることができる。 ○外国の文化について紹介する内容が多くあり、異文化を理解することができる。 ○各ユニットに「Jingle」と「Chant」の活動があり、文章の一部を入れ替え、自分の思いを伝えられるような表記の工夫がある。 <p><聞くこと、読むこと、話すこと〔やりとり〕、話すこと〔発表〕、書くことなどのコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各 Unit のアウトプットの「書く」活動では、4線が書いてあって書く活動がしやすい。また、なぞり書きでスタートしたり、始めの位置に「・」があったりと、取り組みやすい。 ○Unit の Activity では、発表したりペアで会話したりする活動があり、表現する力を身につけることができる。 ○Unit の終わりの「振り返り」では、丁寧に「言いたいけど言えなかったこと」、「もっと知りたいと思ったこと」、「表現をどんな場面で使いたいかな」などに触れ、思いとともに表現することを重要視している。 ○Unit 末にある Let's Read and Write では、活字体の大文字小文字の識別や、名前読みと音読みを丁寧に取り上げ、負担なく読みの活動につなげる工夫がある。 ○各 Unit の扉には、Small Talk に使える絵のページがあり、既習事項を使ったやり取りや Unit への導入ができるようになっている。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○QR コード・URL が各 Unit に3つずつあり、家庭でも手軽に音声教材を使って、主体的に学習できるようにしている。 ○Unit 中の Part 2・3 では、Activity が設けてあり、ペアワークやグループワークができる工夫がある。 	
表 記 ・ 表 現	<ul style="list-style-type: none"> ○Part ごとに「めあて」が明記されていて、学びの見通しが持てるように配慮してある。 ○4 技能 5 領域を示すマークがあり、活動のめあてが分かりやすい。 ○誰もが分かりやすいように、UD書体を用いている。 ○温かみのあるやさしい色使いでシンプルなデザインにし、必要な情報が伝わりやすいように工夫している。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○Unit の構成が一定で、活動や演習はほぼ紙面の流れに沿って行えるので、児童にとっても学びやすいし、教師にとっても授業しやすい。 ○やわらかい色合いだったり、余計な情報がなかったりして、扱う表現に集中して学習できる。 ○文字にたくさん触れているので、文字が多い中学校教科書とのつながりを考えて構成されている。 	